国立大学法人

上越教育大学 学校教育学部
入学者選抜要項 2020

目　次

1　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）…… 1
2　募集人員 …… 2
3　入学者選抜方法 …… 2
4　出願資格 …… 2
5　大学入試センター試験の受験を要する教科・科目 …… 4
6　一般入試 …… 5
7　推薦入試 …… 7
8　受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談 …… 8
9　学生募集要項の発表 …… 8
10　学生募集要項等の入手方法 …… 8
11　出願方法 …… 10
12-1　令和２年度上越教育大学入学者選抜方法等
（一般入試，専門学科・総合学科卒業生入試，アドミッション・オフィス入試）　11
12-2　令和２年度上越教育大学入学者選抜方法等（特別入試）…… 12
13　令和２年度上越教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について …… 13
14　令和２年度特別入試方法等（推薦入試）…… 14

入試関係日程一覧

入試方法	出願期間	試験日	合格者の発表
推薦入試	令和元年12月６日(金) ～ 12月13日(金)	令和２年１月31日(金)	令和２年２月12日(水)
一般入試 （前期日程）	令和２年１月27日(月) ～ ２月５日(水)	令和２年２月25日(火) ～ ２月26日(水)	令和２年３月10日(火)
一般入試 （後期日程）		令和２年３月12日(木)	令和２年３月23日(月)

インターネット出願について

本学の入学試験の出願方法は，平成29年度入学者選抜試験より，「インターネット出願」に変わりました。

これまでの**「紙出願」**（募集要項に添付の入学志願票等に記入したものを郵送する方法）は行いません。

インターネット出願の詳細は，令和２年度学生募集要項に掲載しますので，ご覧ください。

令和2年度上越教育大学入学者選抜要項

1　入学者受入れの方針（アドミッション･ポリシー）

上越教育大学では，「上越教育大学学校教育学部における卒業認定・学位授与，教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針」を策定し，公表しています。

以下に，教育の理念・目的，学校教育学部の目標，入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を示します。

１　教育の理念・目的

上越教育大学（以下「本学」という。）は，本学大学憲章に基づき，子供の未来を切り開くことのできる確かな実践力を備え，我が国の教育を担う中核的・指導的な教員の養成を目指している。

教員という職業は，豊かな人間性に支えられた専門職である。その専門性には，子供たちの学習と生活を支援でき，そして人類の築き上げた文化を全体として理解・把握する，つまり様々な学問分野の考え方を整理・統合し，人間の文化的営みを理解できる総合的な資質・能力が求められている。

そのため，本学では，「21世紀を生き抜くための能力（基礎力・思考力・実践力）」を身につけ，「人間力（優れた人格・豊かな感性・未来創造力）」を備え，さらに「教育実践力（豊かな教養・高度な専門的知識・優れた教育技術・使命感・創造力・人間愛）」及び「学び続ける力」を有する教員を養成する。

２　学校教育学部の目標

主として初等教育教員の養成に関する社会的要請に応えるべく，深い人間理解と豊かな学識及び優れた教育技術を備えた教員を養成する。

そのため，教員としての使命感や責任感を育むとともに，社会性や対人関係の力，子供を理解し学級を運営する力，人文科学・社会科学・自然科学・芸術・スポーツについてのバランスのとれた専門的能力とその指導力など，教員に必要な基本的資質と実践的な能力を養成する。

３　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 本学では，以下に掲げる学生を求めている。

ア　教員を目指すために十分な幅広い基礎学力を修得している。【基礎力】

イ　物事を多面的かつ論理的に考察することができ，自分の考えを適切な方法で表現し，他者に伝えることができる。【思考力】

ウ　生活や社会，環境の中に問題を見出し，多様な人々と関わりながら，課題を解決していくことができる。【実践力】

エ　教員を目指す強い意志を持ち，積極的に学修を進めていくことができる。【学び続ける力】

オ　自分らしい生き方を教職との関係において追究し，人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。【人間力】

(2) 以上の受入れの方針に基づいて，本学では，一般入試（前期日程），一般入試（後期日程），推薦入試の三つの方法で選抜を行う。

ア　基礎力を評価するため，三つの選抜方法とも大学入試センター試験を課す。

イ　一般入試（前期日程）では，実技教科への基礎的適性を含むバランスのとれた基礎力を有し，思考力と実践力を備えた学生を選抜する。基礎力を評価するため，上記アに加え，実技検査（音楽・美術・体育のうちから選択）を課す。また，思考力・実践力を評価するため，小論文と集団面接試験を課す。

ウ　一般入試（後期日程）では，上記アに加え，特に学び続ける力と人間力に優れた学生を選抜するため，主に教職への強い関心・意欲と人間性を高めようとする意志に関して質問する個別面接試験を課す。

エ　推薦入試では，上記アに加え，特に実践力と人間力に優れた学生を選抜するため，高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問する個別面接試験を課す。

※**卒業認定・学位授与の方針**（ディプロマ・ポリシー）と**教育課程編成・実施の方針**（カリキュラム・ポリシー）は，本学ホームページ（http://www.juen.ac.jp/050about/010info/H31faculty.html）をご覧ください。

2　募集人員

学　　部	課　　程	入学定員	募 集 人 員		備　　考
学校教育学部	初等教育教員養成課程	160人	前 期 日 程	77人	
			後 期 日 程	33人	
			推 薦 入 試	50人	

（注）２年次から，本人の希望と１年次の成績に基づいて，次のいずれかのコースに所属することになります。

学校教育専修（160人）

学校教育実践コース，先端教科・領域学習コース，現代教育課題コース，幼年教育コース，心理臨床コース，教科内容構成コース

3　入学者選抜方法

入学者の選抜は，次の方法により行います。

①　一般入試（前期日程，後期日程）

②　推薦入試

4　出願資格

（１）　一般入試

次のいずれかに該当し，かつ，令和２年度大学入試センター試験（５教科７科目又は６教科７科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は，５教科８科目又は６教科８科目））を受験した者です。

①　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和２年３月卒業見込みの者

②　通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和２年３月修了見込みの者

③　外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和２年３月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

④　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和２年３月31日までに修了見込みの者

⑤　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和２年３月修了見込みの者

⑥　文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）

⑦　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

⑧　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの又は令和２年３月31日までに18歳に達するもの

【上記出願資格⑧により出願する場合は，事前に審査を行う必要があります。詳細については，７月上旬（予定）に本学のホームページ（http://www.juen.ac.jp/）で発表しますのでご確認ください。】

（２）　推薦入試

次のいずれかに該当し，かつ，令和２年度大学入試センター試験（５教科７科目又は６教科７科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は，５教科８科目又は６教科８科目））を受験する者です。

①　高等学校若しくは中等教育学校を平成30年４月から平成31年３月までに卒業した者又は令和２年３月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第３項及び第103条第１項等の規定に基づき，平成31年度（令和元年度）の学年の途中において高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者を含む。）

②　高等専門学校第３学年を平成30年４月から平成31年３月までに修了した者又は令和２年３月修了見込みの者

③　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年４月から平成31年３月までに修了した者又は令和２年３月31日までに修了見込みの者

5　大学入試センター試験の受験を要する教科･科目

一般入試及び推薦入試に出願する者は，次に掲げる令和２年度大学入試センター試験の５教科７科目又は６教科７科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は，５教科８科目又は６教科８科目）の受験を要します。

<table>
<tr><th>教科</th><th colspan="3">科目及び科目選択方法</th></tr>
<tr><td>国語</td><td colspan="3">『国語』</td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td rowspan="2">「世界史Ａ」,「世界史Ｂ」,「日本史Ａ」,
「日本史Ｂ」,「地理Ａ」,「地理Ｂ」,
「現代社会」,「倫理」,「政治･経済」,『倫理,政治･経済』</td><td rowspan="2">から１
又は２科目
（注1）</td><td rowspan="4">理科で
ａ又はｃを
選択する場合
は４科目

ｂ又はｄを
選択する場合
は３科目
（注2）,（注3）,（注4）</td></tr>
<tr><td>公民</td></tr>
<tr><td>理科</td><td>ａ:「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」から２科目
ｂ:「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から１科目
ｃ:「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」から２科目
並びに「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から１科目
ｄ:「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から２科目</td><td>ａ～ｄの
いずれか
一つ</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>「数学Ⅰ」,『数学Ⅰ・数学Ａ』から１科目
「数学Ⅱ」,『数学Ⅱ・数学Ｂ』,『簿記・会計』,
『情報関係基礎』から１科目</td><td>の計２科目</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="3">『英語』（注5）,『ドイツ語』,『フランス語』,
『中国語』,『韓国語』から１科目</td></tr>
</table>

（注1）地理歴史においては，同一名称のＡ・Ｂ出題科目，公民においては，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

（注2）「理科」でａ又はｂを選択する場合は，「地理歴史，公民」から２科目を選択してください。また，ｃ又はｄを選択する場合は，「地理歴史，公民」から１科目を選択してください。

（注3）「地理歴史，公民」で１科目を選択し，「理科」でｃを選択する場合は，理科において同一名称を付した出題科目（「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」）の組合せを選択することはできません。ただし，「地理歴史，公民」で２科目を選択し，「理科」でｃを選択する場合は，この限りではありません。この場合における本学の成績利用方法は，（注4）２.のとおりです。

（注4）［地理歴史，公民から２科目］，［理科からｃ又はｄにより３科目又は２科目］を受験した場合は，理科の科目選択方法に応じて，次の３科目（理科の基礎を付した科目（２科目の合計）を用いる場合は４科目）の成績を用います。

１．理科ｃの科目選択方法で，「物理基礎，化学基礎」と「生物」など，異なる名称を付した出題科目を受験した場合。

ア［地理歴史，公民の第１解答科目］

イ［地理歴史，公民の第２解答科目］，［理科の基礎を付した科目］,［理科の基礎を付していない科目］のうち高得点の２科目（理科の基礎を付した科目を用いる場合は３科目）

２．理科ｃの科目選択方法で，「物理基礎」と「物理」など，同一名称を付した出題科目を受験した場合。

ア［地理歴史，公民の第１解答科目］

イ［地理歴史，公民の第２解答科目］

ウ［理科の基礎を付した科目］又は［理科の基礎を付していない科目］のどちらか高得点の科目

３．理科ｄの科目選択方法で受験した場合。

ア［地理歴史，公民の第１解答科目］

イ［理科ｄで受験した科目の第１解答科目］

ウ［地理歴史，公民の第２解答科目］又は［理科ｄで受験した科目の第２解答科目］のどちらか高得点の科目

（注5）外国語の英語については，「筆記」及び「リスニング」を課します。なお，大学入試センターにおいて英語リスニングを免除された者については，「筆記」のみを課します。

6　一般入試

（1）　前期日程

＜入試方法＞

①　大学入試センター試験（５教科７科目又は６教科７科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は，５教科８科目又は６教科８科目））及び実技検査等の成績並びに面接の評価結果を総合して，入学者を選抜します。

②　実技検査等は，次によるものとします。

ア　小論文

思考力・実践力を評価するため，小論文を課します。

【思考力】物事を多面的かつ論理的に考察することができ，自分の考えを適切な方法で表現し，他者に伝えることができる。

【実践力】生活や社会，環境の中に問題を見出し，多様な人々と関わりながら，課題を解決していくことができる。

イ　実技検査

基礎力を評価するため，実技検査（音楽・美術・体育のうちから１科目を選択）を課します。

【基礎力】教員を目指すために十分な幅広い基礎学力を修得している。

音楽…音楽表現の基礎的能力と適性をみます。

美術…造形表現の基礎的能力と適性をみます。

体育…運動の基礎的能力と適性をみます。

③　面接では，思考力・実践力を評価するため，集団面接試験を行います。

【思考力】物事を多面的かつ論理的に考察することができ，自分の考えを適切な方法で表現し，他者に伝えることができる。

【実践力】生活や社会，環境の中に問題を見出し，多様な人々と関わりながら，課題を解決していくことができる。

④　面接は，次によるものとします。

ア　面接形式は，受験者５人程度の集団面接とします。

イ　面接は，３人の面接担当者で行います。

ウ　個別質問，プレゼンテーション，集団討論を行います。

エ　面接は，調査書の内容を併せて総合的に評価します。

⑤　大学入試センター試験と実技検査等の配点比率は，５：１とします。

配点内訳は，次のとおりです。なお，地理歴史，公民及び理科の配点は，合計300点とします。

大学入試センター試験							実技検査等			面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	計	小論文	実技	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	90	90	180	段階評価とする

（注１）外国語の英語については，筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に換算します。

（注２）英語リスニングを免除された者については，筆記（200点満点）の得点のみを英語の得点とします。

⑥　実技検査等は，令和２年２月25日(火)に行い，面接は，令和２年２月26日(水)に行います。

（２） 後期日程

＜入試方法＞

① 大学入試センター試験（５教科７科目又は６教科７科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は，５教科８科目又は６教科８科目））の成績及び面接の評価結果を総合して，入学者を選抜します。

② 面接では，特に学び続ける力と人間力に優れた学生を選抜するため，主に教職への強い関心・意欲と人間性を高めようとする意思に関して質問する個別面接試験を行います。
【学び続ける力】教員を目指す強い意志を持ち，積極的に学修を進めていくことができる。
【人間力】自分らしい生き方を教職との関係において追究し，人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

③ 面接は，次によるものとします。
ア 面接形式は，個別面接とします。
イ 面接は，３人の面接担当者で行います。
ウ 面接は，調査書の内容を併せて総合的に評価します。

④ 大学入試センター試験の配点内訳と面接の評価は，次のとおりです。なお，地理歴史，公民及び理科の配点は，合計300点とします。

大学入試センター試験							面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	段階評価とする

（注１）外国語の英語については，筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に換算します。
（注２）英語リスニングを免除された者については，筆記（200点満点）の得点のみを英語の得点とします。

⑤ 面接は，令和２年３月12日（木）に行います。

7　推薦入試

＜推薦要件＞

平成30年４月から平成31年３月までに高等学校等を卒業（修了）又は令和２年３月高等学校等を卒業（修了）見込みの者（「４　出願資格」参照）で，次の①から③までのすべてに該当し，かつ，合格した場合は，必ず本学に入学することを確約できる者です。なお，各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。

①　出身学校長が，初等教育教員になるためにふさわしい意欲，資質，能力，適性等を有する者として，責任をもって推薦する者

②　令和２年度大学入試センター試験（５教科７科目又は６教科７科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は，５教科８科目又は６教科８科目））を受験する者

③　調査書の全体の評定平均値が3．5以上の者

（注）　上記の推薦要件に該当しない者については，出願書類を受理しません。

＜入試方法＞

①　出身学校長の推薦に基づき，面接及び大学入試センター試験（５教科７科目又は６教科７科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は，５教科８科目又は６教科８科目））の成績により，入学者を選抜します。

②　面接では，特に実践力と人間力に優れた学生を選抜するため，高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問します。

【実践力】生活や社会，環境の中に問題を見出し，多様な人々と関わりながら，課題を解決していくことができる。

【人間力】自分らしい生き方を教職との関係において追究し，人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

③　面接は，次によるものとします。

ア　面接形式は，個別面接とします。

イ　面接は，３人の面接担当者で行います。

ウ　面接は，推薦書，自己推薦書及び調査書の内容を併せて総合的に評価します。

④　大学入試センター試験と面接の配点比率は，10：３とします。

配点内訳は，次のとおりです。なお，地理歴史，公民及び理科の配点は，合計300点とします。

大学入試センター試験							面　接
国　語	地理歴史	公　民	理　科	数　学	外国語	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	270

（注１）外国語の英語については，筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に換算します。

（注２）英語リスニングを免除された者については，筆記（200点満点）の得点のみを英語の得点とします。

⑤　合格者の判定は，全受験者を一括して行います。なお，面接の成績が配点の50％未満の場合には，合格者としません。

⑥　面接は，令和２年１月31日(金)に行います。

＜その他＞

推薦入試に出願する者は，本学の一般入試にも出願することができます。

8　受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で，障害等があることにより，受験上又は修学上の配慮を必要とする場合は，次の期日までに本学に必ず申し出てください。

※　受験上の配慮は必要としない場合でも，修学上の配慮を必要とする者は，必ず申し出てください。

◯ 推薦入試 … 令和元年11月８日(金)まで
◯ 一般入試 … 令和元年11月29日(金)まで

9　学生募集要項の発表

一般入試及び推薦入試についての出願期間，試験日程，試験場，出願手続，その他入学者選抜に必要な詳細事項は，**令和元年11月上旬（予定）**に「**学生募集要項**」により発表します。

10　学生募集要項等の入手方法

（１）学生募集要項（PDF版）は，本学ホームページから閲覧・ダウンロードできます。（PDF版も冊子体も同じ内容です。）
大学案内は，本学ホームページでご覧いただけます。
なお，学生募集要項（入学志願票等は含みません。）又は大学案内の冊子体を希望する場合は，次の(2)，(3)，(4)のいずれかで請求してください。

（２）テレメールで請求する
①下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

上越教育大学のホームページから	http://www.juen.ac.jp/ の「資料請求」からアクセス
テレメールのホームページから (パソコン・携帯電話・スマートフォン)	https://telemail.jp
自動音声応答電話の場合	**IP電話　050-8601-0101（24時間受付）** ※　IP電話への通話料金は，一般電話回線からは日本全国どこからでも３分毎に約12円です。

②請求を希望する資料請求番号（６桁）をプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	料金 (送料含む)	発送開始日
大学案内	**562702**	180円	随時発送中
学生募集要項	**582702**	180円	11月上旬
学生募集要項 ＋ 大学案内	**542702**	250円	11月上旬

③あとはガイダンスに従ってください。

※注　・資料は通常，発送日からおおむね３～４日でお届けできます。日曜や祝日をまたぐ場合はお届けが遅くなる場合があります。
また，地域や郵便事情によってはお届けに１週間程かかる場合があります。
なお，17時30分までの受付は当日発送，17時30分以降の受付は翌日発送となります。
・発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり，発送開始日に一斉に発送します。
・随時発送の資料が10日以上（予約受付の資料は発送開始日から10日以上）経っても届かない場合は，テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
・資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は，資料到着まで保管しておいてください。
・料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上，資料到着後２週間以内に表示料金をお支払いください。
なお，支払い手数料が別途必要です（コンビニ払いは86円。クレジットカード払いは50円。ケータイ払いは50円。ゆうちょ銀行･郵便局での通常払込みは，ATM150円，窓口200円。コンビニ払いは，消費税率10％改定後，88円に変更予定）。
また，複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
・自動音声応答電話によるご請求の場合，住所，名前等の登録時は，ゆっくりはっきりとお話しください。登録された音声が不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

■テレメールでの請求方法についてのお問い合わせは
テレメールカスタマーセンター
電話 050-8601-0102 (9:30～18:00)まで

（３）モバっちょで請求する

①下記よりモバっちょにアクセスしてください。

上越教育大学 携帯サイトから	https://daigakujc.jp/juen/ の「資料請求方法」からアクセス
モバっちょのホームページから (パソコン・携帯電話・スマートフォン)	https://djc-mb.jp/juen3/

②料金は以下のとおりです。

資料名	料金 (送料含む)	発送開始日
大学案内	250円	随時発送中
学生募集要項	250円	11月上旬
学生募集要項 ＋ 大学案内	350円	11月上旬

※注　・お支払い時，資料毎に支払い手数料が必要です。（携帯・スマホ払い，クレジットカード決済は50円，コンビニ後払いは126円）

■モバっちょでの請求方法についてのお問い合わせは
大学情報センター株式会社　モバっちょカスタマーセンター
電話 050-3540-5005 (平日10:00～18:00)まで

（４）　本学への直接請求

直接大学の窓口で請求する場合は，月曜日から金曜日（休日及び年末年始（12月29日から１月３日まで）は除く。）の９時から17時の間にお願いします。

郵送で請求する場合は，封筒の表に「**学部学生募集要項請求**」と朱書し，角形２号（縦33cm，横24cm程度）の**返信用封筒**（請求者の郵便番号，住所，氏名を明記し，１８０円分（※）の郵便切手を貼り付けたもの）**を同封**し，請求してください。

なお，「学生募集要項」と「大学案内」をセットで希望される場合は，３００円分（※）の郵便切手を返信用封筒に貼り付けてください。

（※）郵便料金は，消費税率10％改定後に変更する場合があります。

請求先：上越教育大学入試課
〒943-8512　新潟県上越市山屋敷町１番地
電話　025-521-3294

11　出願方法

本学の入学試験の出願方法は，平成29年度入学者選抜試験より，**「インターネット出願」に**変わりました。

これまでの**「紙出願」**（募集要項に添付の入学志願票等に記入したものを郵送する方法）は行っておりません。

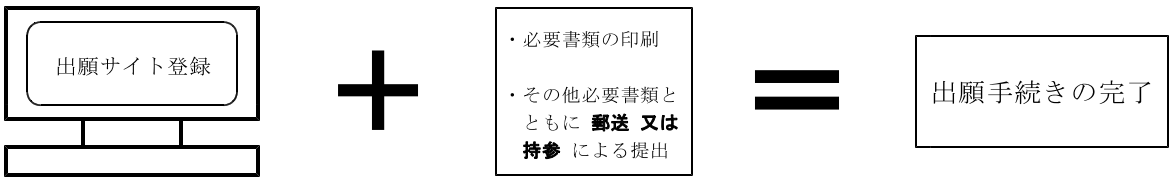
インターネット出願では，学生募集要項（冊子体）の取り寄せが不要（pdfで公開します）となり，Web入力に際してエラーチェック機能により願書の記入誤りが防げます。また，検定料の支払方法としてコンビニエンスストアやクレジットカード等の利用が可能です。

ご利用にあたってはメールアドレス・パソコン（インターネット接続済）・プリンター（Ａ４出力）が必要です。

インターネット出願において，必要事項の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了ではありません。**出願に必要な書類を郵送する必要があります。**出願書類の提出期限をよく確認し，郵送に要する日数を考慮したうえで期限に間に合うよう手続きしてください。

なお，事情によりインターネットを利用することができない方は，本学入試課へご連絡ください。

＜インターネット出願の流れ＞



出願前に必要書類の事前準備をお願いします。（調査書等）

・センター試験成績請求票
・調査書
・顔写真データ（ファイル形式（jpeg,jpg,png,bmp））
・推薦書（推薦入試のみ）
・自己推薦書（推薦入試のみ）

①　インターネット出願サイトへアクセス

本学入試情報ホームページ
→ http://www.juen.ac.jp/060admissions/020faculty/index.html　または，

インターネット出願サイト
→ e-apply.jp/e/juen/index.html　からアクセス

※「インターネット出願登録期間」以外は出願登録はできません。

②　出願期間

	インターネット出願登録期間 及び検定料支払期間	出願書類提出期限
推 薦 入 試	令和元年12月６日（金）10時～ 令和元年12月13日（金）15時まで	令和元年12月13日（金）17時必着
一 般 入 試 （前期日程 後期日程）	令和２年１月27日（月）10時～ 令和２年２月５日（水）15時まで	令和２年２月５日（水）17時必着

詳細については，学生募集要項（11月上旬発表予定，本学ホームページに掲載）でご確認ください。

12－1

令和2年度上越教育大学入学者選抜方法等

（一般入試，専門学科･総合学科卒業生入試，アドミッション･オフィス入試）

選抜方法等 ＼ 学部・学科名		一般入試								専門学科・総合学科卒業生入試						アドミッション・オフィス入試	一般入試の日程	備考（欠員の補充の方法等）
		個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜			個別学力検査を課する	実技検査等				募集人員			
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する	主として，調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い，その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する				
								定員に対する倍率	その他									
学校教育学部・初等教育教員養成課程	前期日程	×	○（注）	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	令和2年2月25日（火）～2月26日（水）	入学定員に欠員が生じた場合には，追加合格，欠員補充第2次募集を行う。
	後期日程	×	×	○	×	×											令和2年3月12日（木）	

（注） 前期日程の実技検査は，音楽，美術，体育のうちから1科目を選択してください。

12－2

令和2年度上越教育大学入学者選抜方法等（特別入試）

選抜方法等／学部・学科名	推薦入試								私費外国人留学生の特別入試	帰国子女・社会人等のための特別入試			その他の入試	備考
	入学定員の一部について，出身学校長の推薦に基づき，学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							推薦入試募集人員						
	個別学力検査を免除し，大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査等							帰国子女	中国引揚者等子女	社会人		
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する	その他							
学校教育学部・初等教育教員養成課程	○	×	×	○	×	×	×	50人	×	×	×	×	×	

令和2年度上越教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名及び入学定員等（平成31年度志願倍率）	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名：教科	科目及び科目選択方法	個別学力検査等：教科等	科目名等	2段階選抜	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等：試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技検査	面接	配点合計	特別の入試方法等
学校教育学部 初等教育教員養成課程 前期 77 後期 33 その他 50 ［4．1］	前期 2月25日～2月26日	国語	『国語』	その他	小論文 実技検査（音楽，美術，体育から1） 面接		センター試験	200	＊100又は＊200		200	＊100又は＊200	200				900	推薦 追加合格 欠員補充
		地理歴史 公民	「世界史Ａ」,「世界史Ｂ」,「日本史Ａ」,「日本史Ｂ」,「地理Ａ」,「地理Ｂ」,「現代社会」,「倫理」,「政治･経済」,『倫理,政治･経済』 から１又は２科目（注１） 理科で a又はｃを選択する場合は４科目 b又はｄを選択する場合は３科目（注２）（注３）（注４）				個別学力検査等						90	90	◎	180	
		理科	a：「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」から２科目 b：「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から１科目 c：「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」から２科目 並びに「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から１科目 d：「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から２科目 a～dのいずれか一つ				計	200	＊100又は＊200		200	＊100又は＊200	200	90	90		1080	
	後期 3月12日	数学	「数学Ⅰ」,『数学Ⅰ・数学Ａ』から１科目 「数学Ⅱ」,『数学Ⅱ・数学Ｂ』,『簿記・会計』,『情報関係基礎』から１科目 の計２科目	その他	面接		センター試験	200	＊100又は＊200		200	＊100又は＊200	200				900	
		外国語	『英語』（注５）,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』 から１科目				個別学力検査等								◎			
							計	200	＊100又は＊200		200	＊100又は＊200	200				900	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

（注1）地理歴史においては，同一名称のＡ・Ｂ出題科目，公民においては，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

（注2）「理科」でａ又はｂを選択する場合は，「地理歴史，公民」から２科目を選択してください。また，ｃ又はｄを選択する場合は，「地理歴史，公民」から１科目を選択してください。

（注3）「地理歴史，公民」で１科目を選択し，「理科」でｃを選択する場合は，理科において同一名称を付した出題科目（「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」,「地学基礎」と「地学」）の組合せを選択することはできません。ただし，「地理歴史，公民」で２科目を選択し，「理科」でｃを選択する場合は，この限りではありません。この場合における本学の成績利用方法は，（注4）２．のとおりです。

（注4）［地理歴史，公民から２科目］，［理科からｃ又はｄにより３科目又は２科目］を受験した場合は，理科の科目選択方法に応じて，次の３科目（理科の基礎を付した科目（２科目の合計）を用いる場合は４科目）の成績を用います。

１．理科ｃの科目選択方法で，「物理基礎，化学基礎」と「生物」など，異なる名称を付した出題科目を受験した場合。
　ア［地理歴史，公民の第１解答科目］
　イ［地理歴史，公民の第２解答科目］,［理科の基礎を付した科目］,［理科の基礎を付していない科目］のうち高得点の２科目（理科の基礎を付した科目を用いる場合は３科目）

２．理科ｃの科目選択方法で，「物理基礎」と「物理」など，同一名称を付した出題科目を受験した場合。
　ア［地理歴史，公民の第１解答科目］
　イ［地理歴史，公民の第２解答科目］
　ウ［理科の基礎を付した科目］又は［理科の基礎を付していない科目］のどちらか高得点の科目

３．理科ｄの科目選択方法で受験した場合。
　ア［地理歴史，公民の第１解答科目］
　イ［理科ｄで受験した科目の第１解答科目］
　ウ［地理歴史，公民の第２解答科目］又は［理科ｄで受験した科目の第２解答科目］のどちらか高得点の科目

（注5）外国語の英語については，「筆記」及び「リスニング」を課します。なお，大学入試センターにおいて英語リスニングを免除された者については，「筆記」のみを課します。

【個別学力検査等】欄

前期日程の実技検査は，音楽，美術，体育のうちから１科目を選択してください。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

①配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表します。
②地理歴史，公民及び理科の配点は，合計300点とします。
③外国語の英語については，筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に換算します。
④英語リスニングを免除された者については，筆記（200点満点）の得点のみを英語の得点とします。
⑤前期日程及び後期日程における個別学力検査等の面接（◎）は，段階評価とします。

令和2年度特別入試方法等（推薦入試）

上越教育大学

実施学部・学科名	学校教育学部　初等教育教員養成課程
募　集　人　員	５０人

出　願　要　件

平成30年４月から平成31年３月までに高等学校等を卒業（修了）又は令和２年３月高等学校等を卒業（修了）見込みの者（「４ 出願資格」参照）で，次の①から③までのすべてに該当し，かつ，合格した場合は，必ず本学に入学することを確約できる者です。なお，各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。

① 出身学校長が，初等教育教員になるためにふさわしい意欲，資質，能力，適性等を有する者として，責任をもって推薦する者

② 令和２年度大学入試センター試験（５教科７科目又は６教科７科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は，５教科８科目又は６教科８科目））を受験する者

③ 調査書の全体の評定平均値が3．5以上の者

※ 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目

教　科	科目及び科目選択方法		
国　語	『国語』		
地理歴史 公　民	「世界史Ａ」,「世界史Ｂ」,「日本史Ａ」, 「日本史Ｂ」,「地理Ａ」,「地理Ｂ」, 「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,『倫理,政治・経済』	から１ 又は２科目 （注1）	理科で ａ又はｃを 選択する場合 は４科目 ｂ又はｄを 選択する場合 は３科目 （注2）,（注3）,（注4）
理　科	ａ:「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」から ２科目 ｂ:「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から１科目 ｃ:「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」から ２科目並びに「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から１科目 ｄ:「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から２科目	ａ～ｄの いずれか 一つ	
数　学	「数学Ⅰ」,『数学Ⅰ・数学Ａ』から１科目 「数学Ⅱ」,『数学Ⅱ・数学Ｂ』,『簿記・会計』, 『情報関係基礎』から１科目	の計２科目	
外国語	『英語』（注5）,『ドイツ語』,『フランス語』, 『中国語』,『韓国語』から１科目		

（注1）地理歴史においては，同一名称のＡ・Ｂ出題科目，公民においては，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

（注2）「理科」でａ又はｂを選択する場合は，「地理歴史，公民」から２科目を選択してください。また，ｃ又はｄを選択する場合は，「地理歴史，公民」から１科目を選択してください。

（注3）「地理歴史，公民」で１科目を選択し，「理科」でｃを選択する場合は，理科において同一名称を付した出題科目（「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」）の組合せを選択することはできません。ただし，「地理歴史，公民」で２科目を選択し，「理科」でｃを選択する場合は，この限りではありません。この場合における本学の成績利用方法は，（注4）２．のとおりです。

（注4）［地理歴史，公民から２科目］，［理科からｃ又はｄにより３科目又は２科目］を受験した場合は，理科の科目選択方法に応じて，次の３科目（理科の基礎を付した科目（２科目の合計）を用いる場合は４科目）の成績を用います。

１．理科ｃの科目選択方法で，「物理基礎，化学基礎」と「生物」など，異なる名称を付した出題科目を受験した場合。
　ア［地理歴史，公民の第１解答科目］
　イ［地理歴史，公民の第２解答科目］，［理科の基礎を付した科目］，［理科の基礎を付していない科目］のうち高得点の２科目（理科の基礎を付した科目を用いる場合は３科目）

２．理科ｃの科目選択方法で，「物理基礎」と「物理」など，同一名称を付した出題科目を受験した場合。
　ア［地理歴史，公民の第１解答科目］
　イ［地理歴史，公民の第２解答科目］
　ウ［理科の基礎を付した科目］又は［理科の基礎を付していない科目］のどちらか高得点の科目

３．理科ｄの科目選択方法で受験した場合。
　ア［地理歴史，公民の第１解答科目］
　イ［理科ｄで受験した科目の第１解答科目］
　ウ［地理歴史，公民の第２解答科目］又は［理科ｄで受験した科目の第２解答科目］のどちらか高得点の科目

（注5）外国語の英語については，「筆記」及び「リスニング」を課します。なお，大学入試センターにおいて英語リスニングを免除された者については，「筆記」のみを課します。

入　試　方　法　等

(1) 出身学校長の推薦に基づき，面接及び大学入試センター試験（５教科７科目又は６教科７科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は，５教科８科目又は６教科８科目））の成績により，入学者を選抜します。

(2) 面接では，特に実践力と人間力に優れた学生を選抜するため，高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問します。

(3) 面接は，次によるものとします。
　ア　面接形式は，個別面接とします。
　イ　面接は，３人の面接担当者で行います。
　ウ　面接は，推薦書，自己推薦書及び調査書の内容を併せて総合的に評価します。

(4) 大学入試センター試験と面接の配点比率は，10：３とします。
配点内訳は，次のとおりです。なお，地理歴史，公民及び理科の配点は，合計300点とします。

大学入試センター試験							面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	270

（注１）外国語の英語については，筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に換算します。

（注２）英語リスニングを免除された者については，筆記（200点満点）の得点のみを英語の得点とします。

(5) 合格者の判定は，全受験者を一括して行います。なお，面接の成績が配点の50％未満の場合には，合格者としません。

出　願　期　間	令和元年12月６日（金）～ 令和元年12月13日（金）
入　試　期　日	令和２年１月31日（金）
合　格　発　表　日	令和２年２月12日（水）
そ　の　他	推薦入試に出願する者は，本学の一般入試にも出願することができます。

国立大学法人
上越教育大学
Joetsu University of EducatioN

2020
入学者選抜要項

令和元年７月発行

編集発行■上越教育大学入試課

〒９４３－８５１２　新潟県上越市山屋敷町１番地

tel.０２５－５２１－３２９４

http://www.juen.ac.jp/